



ひらぎし

札幌市立平岸小学校

令和8年3月19日

特別号

<https://www.hiragishi-e.sapporo-c.ed.jp>

令和8年度、平岸小学校はこう変わります

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、令和7年度も残りわずかとなってまいりました。3月はどの学年の子どもにとっても、一年間を振り返るとともに新しい学年へ向けての準備をする大切な時間です。私たち職員も、この一年間の教育活動を振り返り、よりよい平岸小学校をつくっていくために、新年度の計画を立てているところです。今年度の教育活動の反省や、11月に行いました「保護者・児童アンケート」の結果等も踏まえ、令和8年度は主に以下のように教育活動の改善を図ってまいります。

【令和8年度学校経営の重点】「すべての子どもが生きる学校」一心を動かし、未来に生きる力を育む

○平岸小学校の「一年間の重点目標」を保護者の皆様と共有します

次年度も引き続き、重点目標を「すべての子どもが生きる学校 一心を動かし、未来に生きる力を育む」と設定して教育活動に取り組みます。加えて令和8年度は「つなげよう心、広げよう笑顔」を子ども向けのキャッチフレーズとして設定し、子ども同士の関係性の中で「人を大切にする力」の育成に特に力を入れていきます。「学校は社会の縮図」とよく言われますが、どの子ども社会に一步踏み出せば、多様な個性をもつ人の中で生きていくこととなります。多様性を認め、周りの人とともに生きていくことは、今後ますます重要になっていきます。詳しくは4月の懇談会の際に、今年度の重点と一年間の学校教育についてご説明させていただきます。また、重点に合わせて行事や児童活動などの取組や年間行事予定も見直しを図っています。裏面の行事予定も合わせてご確認ください。



○子どもの声を聴き、一人一人を尊重します・心を動かすことのできるような教育活動を目指します

子どもたちの中で「～たい」という思いが生まれ、自分から学びに向けて動き出す主体的な学びを身に付けることが重要です。学習の中で子どもが自己決定できる場を設定したり、学級会など子どもたちの意見で決める自治的な活動を取り入れたりと、子どもの声を学校づくりに生かしていくことで、主体的な子どもを育てていきます。そのためにはまず、子どもが安心して思いを伝えられる学級づくりが土台となります。子どもたちをありのままに受け止め、子どもたちが「自分は周りの人から受け入れられているんだ」という気持ちをもてるよう、学級担任はもちろん全職員が子どもたち一人一人を認め、尊重していきます。

【豊かな心】の育成



○学年やブロック、異学年での交流を充実させます

現在の「りんごグループ」を発展させ、1年生から6年生まで全学年が入るよう構成した「たてわりグループ」での交流活動を行います。他にも学年合同授業やクラブ活動、委員会活動などの異学年の交流活動を通して、互いの違いを認め、他者への尊敬や思いやりの心を育てていきます。

○命の指導、いじめ防止等の取組を進めます

今年度に毎月開催していた「学校いじめ対策会議」をはじめ、警察署と連携した安全教育や道徳教育の充実など、子どもを守る取組を引き続き進めていきます。

【学ぶ力】の育成



○学年内教科担任制を取り入れた指導

現在一部の学年で行っている「学年内教科担任制」を、全学年で取り入れます。一部の教科で、学級担任ではなく教科の担当者が授業を行う取組です。専門性を高め、よりよい学習指導を目指すとともに、学級を超えた「学年担任」という意識で指導に当たります。

○基礎基本の定着に力を入れて取り組みます

学力検査や全国学力学習状況調査から、平岸小の子どもたちの課題が見えてきました。基礎基本の力を高めることを大切に、また子どもが自分の伸びを実感できる学習になるよう活動を工夫していきます。

【健やかな体】の育成



○体育授業の充実、授業以外の取組の充実を目指します

体育授業による運動はもちろん、養護教諭による健康指導や性指導、栄養教諭による食指導などの授業を充実させていきます。同時に授業以外でも、授業や行事と関連付けた取組や環境づくりを行い、健やかな体づくりを目指します。

○運動に親しみたくなる環境整備を進めます

今年度は、体育館に鉄棒やマット、跳び箱を常設し、休み時間にも運動に親しめるようにする「鉄棒週間」「器械運動週間」を実施しました。新年度もより運動に取り組みたくなるような取組、環境整備を進めます。

【学校運営】～信頼される学校づくり～



○お子さんの学びを伝える方法の改善

平岸小学校では現在、9月の前期末と3月の後期末に通知表を発行しています。しかし通知表については保護者の皆様から見ると、観点が分かりにくかったり評価の基準が見えにくかったりという声もありました。そこで令和8年度は、お子さんの学校生活の状況や学習の定着度合をより分かりやすくお伝えするために、10月の初めに通知表ではなく、日常行っているテストの点数から作成した資料を基に個人懇談を行います。お子さんの前期の頑張りや後期への課題について、具体的な点数を基にお話しさせていただき、次の目標を分かりやすくお伝えできるようにします。もちろん、子どもの学びには点数に表れない部分もたくさんありますので、それも保護者の皆様に直接お話しさせていただくことで、お子さんの様子がよく伝わるようにします。3月にはこれまで通り、お子さんの頑張りや一年間の学びの足跡を記した「通知表」を発行します。

○保護者の皆様と学校が交流・意見交換できる機会の充実

子どもたちの健やかな成長のためには、保護者の皆様と学校が連携して指導に関わることが大切だと考えていますので、保護者の皆様と意見交換できる機会を充実させます。参観日を土曜参観を含め5回、時期のバランスを考慮して設定するとともに、上でもお伝えしました通知表の変更に伴って12月に行っていた個人懇談を10月の初めに変更します。「悩みやいじめに関するアンケート」の実施も前期の末に変更し、学習面・友達関係などの生活面の両面で懇談を行います。4月の個人懇談については、学習参観・懇談会の直後ということもあるので、全家庭ではなく、新年度に当たって担任へ個別の相談を希望される方を対象とします。

○子どもたちの心身のゆとり、教職員の資質向上に繋がる年間計画

長期休業明けは子どもたちの生活リズムが変化し、心が不安定になる子も見られます。新年度は、各学期始業式から3日間は午前授業としてゆるやかに学校生活をスタートできるようにすることで、子どもたちの心身の安定を図っていきます。加えてこの期間を教職員研修も兼ねる時間とすることで、子どもたちによりよい教育活動を提供できるよう準備することができます。また、今年度同様年度末に「児童理解研修週間」を設定し、新年度に向け改めてお子さん一人一人の状況を理解し、次年度に確実に情報を引き継いでいけるよう準備を行います。下校時刻が日常と異なる日となりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。